

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年1月6日（木）

2 確認箇所

5／6号機北側（減容処理設備建屋建設現場及び大型廃棄物保管庫建設現場）

3 確認項目

- （1）減容処理設備建屋建設工事の状況
- （2）大型廃棄物保管庫建設工事の状況

4 確認結果の概要

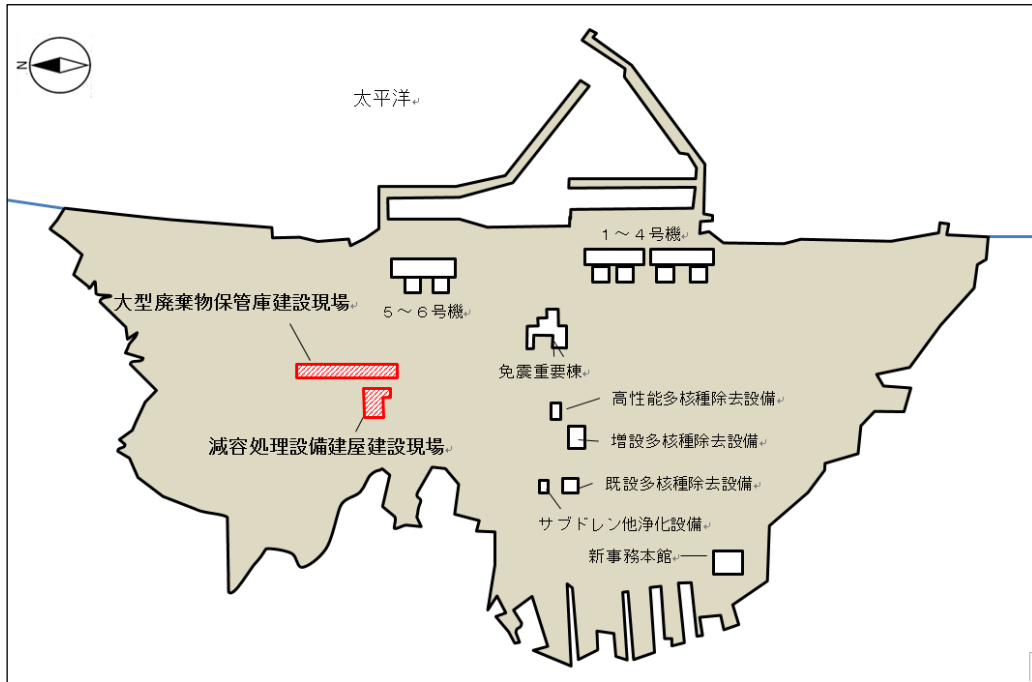
（1）減容処理設備建屋建設工事の状況について

東京電力では令和10年度までに廃炉作業で発生した瓦礫類など固体廃棄物の屋外保管の解消を図るため、瓦礫類のうち金属及びコンクリートの減容処理設備[※]の建設を進めていることから、進捗状況を確認した。（図1）

なお、前回の現場確認（令和3年6月7日）では、建屋基礎の配筋作業が行われていた。（写真1）

- ・建屋の鉄骨組立が完了しており、現場確認時は高所作業車を使用して鉄骨ボルトの本締め作業が行われていた。（写真2）
- ・建屋の周囲には作業足場の設置が進められており、現場確認時は建屋北東側で足場の組立作業が行われていた。また、屋根ではコンクリートを打設するためのスラブ配筋の設置作業が行われており、クレーンによる鉄筋の荷揚げが行われていた。（写真3）

※ 減容処理設備：金属及びコンクリートを効率的に保管するために、それぞれ切断処理及び破碎処理を行うことにより重量あたりの体積を50%程度に減容化するための施設。処理能力は、金属が約60m³/日、コンクリートが約40m³/日で計画されている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
前回の状況
(令和3年6月7日撮影)



(写真2-1)
建屋の鉄骨組立の状況



(写真 2 - 2)
ボルトの本締作業の状況



(写真 3 - 1)
建屋北側の状況
(北東側から撮影)



(写真 3 - 2)
鉄筋の準備状況

(2) 大型廃棄物保管庫建設工事の状況について

汚染水処理装置の運転に伴い発生した使用済吸着塔などについては、現在、屋外に一時保管されているが、東京電力では漏えいリスクの低減を目的に、屋内保管するための大型廃棄物保管庫[※]の建設を進めていることから、進捗状況を確認した。(図 1)

- ・ 建屋の側壁は、南側を除き取り付けが完了していた。また、建屋南東側には保管物の搬入口が設置されていた。(写真 4)
- ・ 建屋側壁には一定の間隔で避雷設備(接地線)が設けられており、現場確認時は建屋の南西側で設置作業が行われていた。(写真 5)

※ 大型廃棄物保管庫：南北約 186m、東西約 23m、高さ約 17m でプレキャスト版造平屋建て(一部 2 階建て)。保管物を受け入れるための揚重施設(クレーン)及び使用済吸着塔の保管架台の設置が計画されているが、現在、昨年 2

月 13 日に発生した地震に関する影響評価を進める中で、耐震裕度が大きいものへの見直しが行われている。



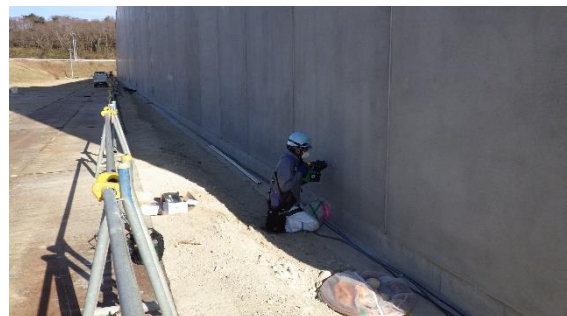
(写真 4 - 1)
建屋南側及び西側の状況
(南西側から撮影)



(写真 4 - 2)
建屋東側の状況



(写真 5 - 1)
避雷設備の設置状況



(写真 5 - 2)
避雷設備の設置作業の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。